

# 平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

横浜市名瀬地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

### 1 全事業共通

#### 地域の現状と課題について

- ・ ケアプラザ担当エリアでは 11 エリア中 3 番目に高齢化率が上昇（27%）しています。それに伴い、ボランティアの高齢化、担い手の高齢化と徐々に深刻度を増しています。地域では、高齢者世帯や独居高齢者が増加傾向にある中、法人や地域の方を巻き込んだ買い物支援や地域参加型の名瀬サンシャインフェスの展開を試みました。また、地域力の維持・向上を考える上では、地域に多数潜在している男性力の発掘が必須と考えました。その上で男性の介護予防教室「名瀬道場」や交流の場「おやじ達のたまり場」を事業化しました。その中でおやじ達のたまり場は、自主化からカローリングの会や名瀬ワンコイン民謡教室等の新たな男性の自主事業が立ち上がり、社会参加につなげました。
- ・ もともと地域のボランティア活動が活発な地域でしたが、担い手の高齢化に伴い、活動の存続に向けて新たな担い手づくりが課題となっていたため、地域と連携して「配食サービスボランティア養成講座」を開催し、担い手づくりの発掘に着手しました。

#### (1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 障がい・子ども・高齢者に関する相談を受けた時は、丁寧な聞き取りを行い、その記録を相談受付票に記録し、再度相談があった時に対応ができるようケアプラザ内で情報の共有を行いました。
- ・ 相談内容に応じて区役所等の関係機関につなぎ、専門機関と連携して対応しました。
- ・ 窓口だけでなく、自主事業・会議、地域の集まり等で相談・情報提供を行い、相談機能を周知しました。
- ・ 継続して対応が必要なケースについては、随時検討を重ね、特に各分野での支援が必要なケースについては、ケアプラザが一体となって取り組みました。

#### (2) 各事業の連携

- ・ 毎月 1 回、地域包括支援センターの 3 職種と地域活動交流、生活支援コーディネーターの 5 職種にてミーティングを開催し、地域情報等を共有し、生活者の視点も取り入れたニーズを把握し支援しました。
- ・ 地域のミニデイサービス、地域行事等の活動に共同で参加し、情報共有した上で、各専門職に応じた業務分担を行いました。
- ・ 地域包括支援センターが把握した課題をコーディネーターも含めて地域に伝え、地域でできる支援体制や啓発事業へつなぎました。
- ・ 5 職種が連携し、地域の高齢者、子育て、障がい児・者等の様々な事業を協力・協働して開催しました。

- ・5職種が協働してみまもり支援についての地域ケア会議や「配食サービスを考える会」等の協議体を開催し、マップ作りや配食サービスボランティア養成講座につながりました。
- ・地域の方へケアプラザの認知度を上げるため「名瀬地域ケアプラザだより」に地域活動交流事業、生活支援体制整備事業と地域包括支援センター等のお知らせや情報を掲載し、定期的に配布して、ケアプラザの機能や地域活動の紹介等を行いました。
- ・「とつかハートプラン地区別計画」の取組みの検討、実施に関する情報共有や、「元気づくりステーション」の自主活動化に向けて連携・協力を継続しました。

### (3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・常勤、非常勤の区分にかかわらず、業務を中心に役割分担を明確にするとともに人件費の効率的な執行に努めました。
- ・「地域ケアプラザ業務連携指針」を会議や研修の場に活用し、地域ケアプラザの設置目的や、公的機関としての公正中立についての考え方を職員内で共有しています。
- ・ケアプラザ内研修計画（個人情報、接遇、感染症、倫理・法令順守、認知症等）を立て、各職員が研修の企画から積極的に参加し、全職員でスキルアップを図りました。
- ・必要な外部研修に参加できるよう、支援体制や協力体制を確保しました。また、各種研修参加者からの報告等により、伝達研修を進めました。
- ・デイサービスでは、具体策として、新人職員に対して所内研修を実施しました。（介護技術、接遇、認知症、レクリエーション等）また、現任者に対しては各種専門研修の受講を促しました。

### (4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・「第3期とつかハートプラン地区別計画」の推進に向け、地域や行政との連携をより強化し、買い物移動支援等の成果がありました。
- ・地域団体のイベントや会合に積極的に参加し、地域の状況を把握するとともに、制度や地域ケアプラザの業務等の広報も含め、必要なインフォーマルサービスの確立に向け、開発・協力・支援を継続しました。
- ・従来から地域で活動しているミニデイサービス、他の関係団体、ボランティア団体等との連携を継続していきました。
- ・「名瀬地区子育て連絡会」を年3回開催して、子育て関係者等と地域の子育ての現状把握や情報共有を行い、外遊び事業等の協力を通じて、連携を継続しました。
- ・地域での「みまもりネット」構築に向けて地域と連携をとっていきました。

### (5) 区行政との協働

- ・「とつかハートプラン地区別計画」地域連携チームとして協力し、移動支援検討部会等において地域が目標や課題に対してスムーズに取り組みが行えるよう、後方支援しました。
- ・「名瀬地区子育て連絡会」、「ほっとタイム」、「赤ちゃん教室」、「精神障害者活動支援事業あったまり場」等の事業を通じて連携・協力しました。
- ・「みまもりネット」の構築に向けて、区と協働して地域に呼びかけていきました。
- ・「元気づくりステーション」の自主化やその後の発展に向けて、区と協働して活動支援を行いました。
- ・ひとり暮らし高齢者を区、民生委員と協力して、地域で見守り支援しました。
- ・多くの問題を抱えたケースや虐待事例、成年後見支援の権利擁護事例等について、区役所と協働して支援しました。

- ・地域ケア会議の開催に向けて、区役所と協議、協働しました。
- ・区役所・区社協と協働し、名瀬地区ハートプラン計画と連動して、買い物移動支援についての連携・協議の場を開催しました。
- ・新任・就労予定ケアマネジャー向け研修を区役所と共催して開催しました。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

- ・高齢者・子育て・障がい・地域の方向けの事業を単発事業と合わせて、毎月定期的に開催しました。
- ・各事業終了後にアンケートを行い、参加者の感想や要望等を確認し、事業に反映するよう努めました。
- ・未就園児の親子や障がい児者が、ケアプラザに気軽に来館できるような居場所事業（ママサロン、あったまり場等）を開催しました。
- ・高齢者を対象に、交流機会としての、脳トレや体操等介護予防の事業（歌声セルフ喫茶、リズム体操等）を開催しました。
- ・「おやじ達のたまり場」において、普段ケアプラザに来館しにくい方を対象に、事業を開催しました。
- ・ケアプラザ内のみでの企画事業だけでなく、福祉教育やボランティア育成等、地域の他機関とも積極的に協働し、事業を開催しました。

### (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・年1回「貸館登録団体交流会」を行い、活動団体同士が情報交換や交流できる場を設けました。
- ・福祉保健活動団体が広く地域で活動を披露できるように、デイサービスや地域のミニデイサービス、お祭等で発表の場を提供できるよう支援しました。
- ・壁が可動式になっているため、他の団体により多目的ホールが利用できない場合でも地域ケアルームとボランティアルームを繋げ小ホールにし、できるだけ利用希望の広さを確保し活動ができるよう、貸部屋の手配に配慮しました。
- ・継続して活動できるようにメンバーの募集及び活動内容を広報誌やチラシ等を活用し、地域に対して広く周知できるように後方支援しました。

### (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・登録利用団体の活動が発展するように、団体相互の交流や情報交換の場の提供と、他の団体の情報収集を行い、事例として提供を行いました。
- ・ボランティア希望者を登録し、ニーズに合った活動の場を提供するためボランティア先を紹介しました。
- ・地域のボランティア育成を含め、養成講座等を開催しました。受け入れ側のニーズの把握に努めました。
- ・小さな困りごとボランティア（サポート隊名瀬）の事務局として地域のニーズ把握と依頼の調整、定例会の開催、ボランティアのスキルアップ等の支援を行いました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 町内会・自治会・関係団体・学校等と連携し、それぞれの活動に関する行事や会合に出席し、連絡・情報交換を行いました。
- ・ 各団体の活動内容の最新情報を収集し、広報や紹介チラシに反映させ、来館者へ活動情報の提供と広報を行いました。
- ・ ケアプラザの広報誌を毎月発行し、ケアプラザの行事予定表に福祉保健団体の貸館利用予定を掲載しました。町内会や自治会、近隣の学校、福祉施設、関連機関に配布を行いました。
- ・ ホームページの内容を検討し、情報の発信を行いました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・ 今年度は特に地域に潜在している男性陣の掘り起こしと社会参加へのきっかけとして、包括主催の「おやじ達の名瀬道場」や地域活動交流と共催の「おやじ達のたまり場」に企画から参加し、広報・運営しました。5職種が毎月の会議や話し合い等で連携・補完しながら、ケアプラザ全体、または法人とも連携して生活支援に関する事業実施体制を整えました。
- ・ 11月に地区社協と5職種で共催した「ボランティアスキルアップ研修」にて生活支援体制整備事業の説明および地区における生活支援としての配食サービス活動の現状をお伝えしました。
- ・ 毎月開催される区の2層コーディネーター連絡会にて、区役所・区社協・他の地域ケアプラザ等と生活支援体制整備事業推進のノウハウや事例共有、意見交換を通して、担当地区での事業実施に活かしていきました。

#### (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 老人クラブや地域のミニデイサービスや「桜カフェひとやすみ」「かいぞう広場」、地区別ハートプラン等に参加し、地域の声を拾いました。
- ・ 5職種で相談し、総合相談ケースの分析から地域高齢者の生活課題を把握した結果、対象となる小地域での地域ケア会議を開催し、さらに地域全体としてのニーズ、資源を把握し、みまもりマップづくりの実践へと発展させることができました。
- ・ 住民主体の地域活動や生活支援サービスを提供している団体・グループを把握し、地域活動・サービスリスト（Ayamu）やケアプラザだよりに掲載し、随時更新しました。
- ・ 担当地区の地域活動をケアプラザ内で共有し、3月の居宅介護支援事業所連絡会でインフォーマルリスト（冊子）として、ケアマネジャーや民生委員に提供しました。

#### (3) 連携・協議の場

- ・ 老人クラブや地域のサロン、ボランティアグループの交流会や連絡会に参加し、担当地区の現状と目指す地域像を共有しました。
- ・ 名瀬地区ハートプラン推進委員会の中で立ち上がった移動支援検討部会（連携・協議の場）にて話し合いを重ね、社会福祉法人の送迎車を利用した小地域での買い物移動支援を月2回のプレ開催から定期開催まで支援しました。
- ・ 協議体から創出したかいぞう広場（世代を超えた交流の場）、桜カフェひとやすみ（認知症カフェ）の継続・発展のため、毎月の打ち合わせや当日に参加し情報提供や広

報等の後方支援を行いました。また、両グループで共催した「認知症サポーター養成講座開催」では居宅・通所介護も含めケアプラザ全体で連携して協力しました。

- ・地域からの相談を受け、担当地区での配食サービス活動の存続に向けて、所長と5職種で連携して協議体を開催し、地域ボランティアのコアメンバー、区社協・区役所と検討を重ねた結果、配食サービスボランティア養成講座を開催し、住民主体の活動継続・発展のため、また社会参加に向けた働きかけとしてボランティア育成を行いました。

#### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・毎月開催される区の2層コーディネーター連絡会にて、担当圏域を超えた共通の課題について、区役所・区社協とともに、情報共有しました。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ①地域におけるネットワークの構築

- ・2025年に向けて優先的に進めるべき課題を掘り起こすために、過去3年間の総合相談の内容を分析しました。その中で、自治会員がほぼ同時期に転入したために、そろって高齢化をむかえるケアプラザ近隣自治会の課題に着目しました。自治会員とともに何ができるか検討を重ねた後、小地域レベルの地域ケア会議を開催しました。自治会会長・老人会・友愛活動員・民生委員・地区社会福祉協議会・保健活動推進委員・区社会福祉協議会・地域包括支援センター職員（以下、包括）が参加し、みまもりマップを作成する機会を持ちました。

#### ②実態把握

- ・各種統計資料から地域の情報を収集し、会合などで地域に発信する中で住民の意識を聞く機会を作りました。
- ・総合相談や個別訪問、アンケート調査等から、地域の実態、ニーズを探り、ケアプラザの部署間で共有・連携を行いました。
- ・ケアプラザから離れている、今まで関係性が薄かったマンションの高齢者を対象に、民生委員などと協働し、出前講座を開催するなどして、個別支援・地域支援へとつなぎました。

#### ③総合相談支援

- ・総合相談票を台帳管理し、相談の内容を共有し必要時ミーティングを行うことで、包括内での情報共有を徹底しました。また、月1回、区と包括の定例カンファレンスを開催し、新規ケースや、継続ケースについての報告、情報共有を行い、常に協力して支援にあたりました。
- ・月平均70～120件の相談に対応しました。（新規：5～10件、継続：70～120件）
- ・訪問での相談は、月15～30件、電話での相談は、月65～110件対応しました。
- ・認知症初期支援チームとの連携により、1件の独居認知症高齢者の支援を行いました。2月には、新規ケースの相談を行いました。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 成年後見制度の普及活動として、弁護士・司法書士・行政書士・社会福祉士・あんしんセンターによる情報交換会を、5月・9月・11月・1月に社会福祉士連絡会において開催しました。
- ・ 近隣の5ケアプラザが共催で「ふくしものしり大学」を年度内に4回開催し、地域のボランティア劇団と行政書士と共に権利擁護の普及啓発を行いました。
- ・ 成年後見申し立て支援を認知症初期集中支援チーム・区役所・包括と協働で1件行いました。
- ・ 戸塚警察署・消費者センターを講師に招き、地域向けに「防犯講話会」を開催し、34名の参加がありました。
- ・ コスモス成年後見サポートセンターと協働にて、4件の成年後見申し立て支援を行いました。
- ・ エンディングノートの普及啓発の一環として、地域の老人会を対象に、エンディングノートミニ出前講座を4回行いました。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・ 虐待疑いのケースについて、区役所・包括・関係機関と協力し、3件の対応を行いました。
- ・ 高齢者虐待予防の取り組みとして、毎月第4火曜日に「介護者のつどい」を開催しました。月平均10～20名の参加者が、介護の悩みや思いを自由に発言できる場となっています。またデイサービスの見学や、近隣病院の相談員との懇談など参加者の役に立つ情報を常に提供しました。
- ・ 在宅高齢者虐待防止事業応用研修に参加し、弁護士との意見交換などを行い、資質の向上に努めました。

### ③ 認知症

- ・ 認知症初期支援チームとの連携により、H29年12月より1件の独居認知症高齢者の支援を行いました。認知症初期集中支援チームを中心に、区役所・居宅介護支援事業所・小規模多機能型居宅介護支援事業所と連携し、本人の支援を行いました。
- ・ 地域のボランティアが運営する認知症カフェに定期的に出席しました。総合相談や、介護予防事業から対象者を認知症カフェに繋ぎました。
- ・ 生活支援体制整備事業と協働にて、当事者家族の実体験を盛り込んだ「認知症サポーター養成講座」を名瀬妙法寺にて開催しました。
- ・ 認知症について、地域の集まりや元気づくりステーションで意見交換をし、認知症高齢者への理解と対応について周知を図りました。
- ・ 「みつけてネット」現在登録者15名(うち今年度新規3名)です。その内1名の発動があり対応しました。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ケアマネサロン名瀬にてケアマネジャーのスキルアップとして事例検討会を行い、様々な視点で利用者への理解を深め、今後の支援のサポートを行いました。
- ・地域の高齢者サロンに参加して、介護保険制度の説明やその他の社会資源等の情報提供を行いました。
- ・民生委員とケアマネジャーの顔の見える関係づくりのための連絡会を、生活支援体制整備事業と共催にて開催しました。

#### ②医療・介護の連携推進支援

- ・東戸塚記念病院と共催にて東戸塚記念病院 地域連携室、MSW、退院調整看護師等と、名瀬地区の居宅介護支援事業所 ケアマネジャーとの情報交換会を行いました。
- ・戸塚区 11 包括共催にてケアマネジャーと医療機関の情報交換会に参加しました。

#### ③ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャーの個別ケースの相談を受けて、区役所、サービス事業所、医療機関、民生委員等と担当者会議等を通じて、継続した支援ができるよう支援しました。
- ・区役所と共催で新人、就労予定ケアマネジャー向け研修を行い、個別の実習も行い必要な情報提供、指導しました。
- ・居宅介護支援事業所からの相談ケースについて、3職種で検討し、必要な情報を提供してアドバイスするとともに、同行訪問等の支援を行いました。
- ・個別ケースでの担当者会議に出席するなど、地域のケアマネジャーの相談に応じ、必要な支援を行いました。
- ・多問題を抱えている個別ケースについて、区役所・包括・ケアマネジャー・各事業所等と綿密に情報共有を行い、連携支援を行いました。

### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・地域と話し合いを重ね、小地域レベルの地域ケア会議を実施することが出来ました。その結果、地域の見守り組織である「友愛活動」のメンバーを中心に、見守りのためのマップづくりを行うことが出来、今後の活動強化につながりました。

### (5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者の主体性・意欲を引き出し、目的指向型の介護予防ケアマネジメントを行いました。
- ・地域のインフォーマルサービスを利用できるように、地域のケアマネジャーに情報提供を行いました。
- ・横浜市・戸塚区の介護予防ケアマネジメント研修に参加し、マネジメント力の向上に努めました。
- ・居宅介護支援事業所へ委託したプランについては、委託事業所と連携をとり、自立

支援の視点から支援しています。

- ・ サービス担当者会議や評価の際には、目標設定やインフォーマルサービスの活用など自立支援型のプランで生活機能の向上が図れるものになっているかチェックを行い、利用者と一緒に立てられるように支援しています。
- ・ 名瀬町の多彩なインフォーマルサービスを利用し、ケアプランを9件支援中です。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・ 男性のための介護予防講座「名瀬道場」を1年間通じて開催しました。地域のスポーツクラブと協力し、また地域交流部門とも連携し地域デビューの後押しが出来ました。
- ・ 4か所の元気づくりステーションがそれぞれ特徴を生かしながら地域に根付いた活動になるよう、区役所と協力し支援しました。相談から元気をなくされた高齢者を元気づくりステーションにつなげ、元気を取り戻す支援が出来ました。
- ・ 地域からの要望によって、6回の出前講座を実施しました。
- ・ 5職種が連携し、地域のボランティア連絡会のメンバーに食に関する講座を実施しました。また、配食サービスボランティア養成講座の中でも介護予防についての講座を行いました。

## 5 その他




## 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- ・ 専門業者による総合設備巡視点検のほかに、随時職員による目視の点検を行い、来所者が安心して利用できるように努めました。来館者が気持ち良く施設を利用できるように維持管理に努めました。
- ・ 設備の管理については、委託業者の選定に関する十分な検討と、運用に関する選定事業者との事前の綿密な打ち合わせを行うとともに、課題発生の場合随時協議し、迅速な対応を行いました。

### (2) 効率的な運営への取組について

- ・ 公的な施設である地域ケアプラザの役割を認識し、適正かつ効率的な運営を行うため、適正な人員配置や適切な物品の管理、光熱水費の節約に努めました。
- ・ 予算に占める人件費に関しては、適切な人員配置を行い、業務の効率化を図るよう努めました。

### (3) 苦情受付体制について

- ・ 法人の苦情解決体制に従い、苦情受付に関するわかりやすい掲示に努めました。また実際の苦情解決に関しては、担当者による迅速かつ丁寧な対応を目指しました。
- ・ 重大な苦情はありませんでしたが、苦情解決調整委員（第三者委員）として法律、福祉、人権等の幅広い分野の方々に依頼し、解決困難な事例に関して助言を受け、円滑な解決、サービスの向上ができる体制づくりを行っている。

### (4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 施設内ならびに行政、地域との連絡体制を整え、緊急時の対応に備えました。
- ・ 施設内事故、車両事故対応、徘徊対応、感染症予防等のマニュアルを備え、職員に対して十分な研修を行うとともに、地域に対しては分かりやすい説明、掲示に努めました。
- ・ 福祉避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を適正に保管し、人員の確保、役割有効性が確保できるよう行政、地域と連携した体制整備を行いました。
- ・ 「名瀬中地域防災拠点運営委員会」に参加し、相互の役割を再確認するとともに情報交換を行い、連携を図りました。
- ・ 防災訓練に関しては、所内防災委員会において消防署等関係者との事前事後の綿密な打ち合わせを行い、現実に即した内容での実施を行いました。
- ・ 地震や災害等が起きた場合、貸館利用者やデイサービス利用者の迅速な誘導と避難を行います。地域防災拠点との協力体制を構築しています。

### (5) 事故防止への取組について

- ・ 事故報告（ケース）を分析し、常勤職員会議での検証を行い情報・認識の共有化を図り、再発防止に向けた対応を十分検討、実施し、事故防止に努めました。
- ・ 情報共有に関するケースファイルや記載方法を十分検討し、実施、運用しています。介護、看護面に関しては、積極的な研修を行うとともに、外部研修への参加を促し、職員の安全に関する意識、技術の向上に努めました。
- ・ 運転業務に関しては、職員の運転技能を把握すると共に、免許を保持していない職員も含め、安全への意識を高めるよう努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報の保護に関する条例」に基づき、個人情報の保護に努めます。職員には、個人情報保護やプライバシーの尊重に関する研修を実施し、意識啓発や体制整備を行い、個人情報の保護に努めました。
- ・地域ケアプラザ，法人のホームページを通して、法人，施設の取組について公表するとともに、利用者等に関して十分な説明を行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ・法人および法定の情報公開の規定に従い、適切な情報公開を行いました。運営協議会および関連の集まり等、ならびに法人ホームページ，広報誌等において積極的に予算，決算，事業内容等を公表するとともに、窓口にも閲覧資料を設置し、自由に閲覧できる体制を整えました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・区役所、区社協等と共同で行う、子育て連絡会、ふくしものしり大学、地域ケア会議、認知症サポーター養成講座等にて、子どもから高齢者世代にわたっての人権の尊重と、虐待防止についての事例検討を行い、対応方法と関連機関の連携、地域の普及啓発について検討を行いました。
- ・倫理や法令遵守についての所内研修を行い、職員の業務取り組みに対する意識啓発を行いました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜市の推進するヨコハマ3R夢プランに基づき、ごみの少量化、分別化を進め、「市役所ごみゼロルート回収」に継続参加し、排出廃棄物の削減，再資源化に努めました。
- ・「ごみゼロ推進委員」を選出し、ごみのマニュアルを作成し、分別収集の徹底，省電力化，省資源の推進等、具体的な方策の実施に努めました。また、光熱水費削減のため、未使用の部屋の消灯や節水に関して、具体的な方策を実施するとともに、その効果をより図るため、職員の認識の共有化に努めるとともに、利用者の協力を得られるよう周知を図り、情報提供に努めました。
- ・東日本大震災後の影響による電力供給不足への継続対応として、節電に努めました。

## 介護保険事業

### ● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

#### 《職員体制》

保健師 1名

主任ケアマネジャー 1名（9月より3月まで不在）

社会福祉士 1名

プランナー 1名

#### 《目標に対する成果等》

- ・利用者本人が目標を理解したうえで、その達成のためにサービスを主体的に利用して、目標の達成に取り組んでいけるような計画を作成し、実行できるよう支援しました。
- ・名瀬町にある多彩なインフォーマルサービスを上手に利用できるように、冊子を作成し、ケアマネジャー・民生委員に説明し配布しました。

#### 《実費負担》

- なし
- 
- 

#### 《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・住宅改修や福祉用具購入・住民主体のサービス等を利用して、自立した生活を送れる要支援者に関しては、利用者に説明をしたうえでケアマネジメントCを利用し支援をしています。3月末9名利用中。

#### 《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
104	117	116	120	116	116
10月	11月	12月	1月	2月	3月
129	128	130	114	126	127

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 常勤兼務職員 1 名(管理者と兼務)
- ・ 常勤専従職員 3 名(H31.3 月より 2 名)

《目標に対する成果等》

- ・ 地域包括支援センターと月 1 回のケースミーティングの機会を持ちながら、ケースに応じて、地域包括支援センターや区役所(高齢・障害支援課、生活支援課、子ども家庭支援課)など多職種と連携を取り、困難ケースに対応した。
- ・ 入院時の病院への情報提供、退院前のカンファレンス参加、主治医へのケアプラン交付の他、近隣病院 8 ケ所へ定期的に挨拶回りを行い、顔の見える関係作りに努めた。
- ・ 個別の年間研修計画に沿って、各種研修やケアマネットに 18 回参加し、研修参加後は事業所内で情報共有した。また他法人との合同事例検討会も開催した。

《実費負担》

- ありません
- 
- 

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ ケアプラザ内の居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携を取りながら、適切な業務を遂行してまいります。
- ・ 24 時間の電話連絡体制を整えており、各ケアマネが携帯を持ち、ご利用者、事業所との連絡調整を迅速に行います。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
133	136.5	137.5	139	142	140.5
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
141.5	142	142	147.5	151	153

平成30年度「横浜市名瀬地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,772,024		17,772,024	19,478,696	△ 1,706,672	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業	400,000		400,000	400,000	0	
自主事業収入			0	353,250	△ 353,250	この列は入力しない
雑入	0		0	29,887	△ 29,887	
印刷代			0	19,523	△ 19,523	
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	10,364	△ 10,364	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)			0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
収入合計	18,172,024	0	18,172,024	19,861,833	△ 1,689,809	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,661,000	0	9,661,000	12,536,828	△ 2,875,828	
本俸	7,500,000		7,500,000	6,943,848	556,152	
社会保険料	785,000		785,000	1,036,095	△ 251,095	
手当計	996,000		996,000	4,320,040	△ 3,324,040	
健康診断費	180,000		180,000	130,195	49,805	
勤労者福祉共済掛金	0		0	106,650	△ 106,650	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	150,000		150,000	150,000	0	
その他	50,000		50,000	50,000	0	
事務費	2,674,286	0	2,674,286	2,206,976	467,310	
旅費	200,000		200,000	89,536	110,464	
消耗品費	750,000		750,000	731,514	18,486	
会議随費	60,000		60,000	104,285	△ 44,285	
印刷製本費	130,000		130,000	63,175	66,825	
通信費	300,000		300,000	374,770	△ 74,770	
使用料及び賃借料	0	0	0	20,928	△ 20,928	
横浜市への支払分			0	20,928	△ 20,928	
その他			0	0	0	
備品購入費	300,000		300,000	292,063	7,937	
図書購入費	200,000		200,000	105,785	94,215	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	9,230	770	
職員等研修費	50,000		50,000	16,475	33,525	
振込手数料	10,000		10,000	7,512	2,488	
リース料	90,000		90,000	180,758	△ 90,758	
手数料	20,000		20,000	0	20,000	
地域協力費	0		0	3,600	△ 3,600	
その他	554,286		554,286	207,345	346,941	
事業費	1,686,572	0	1,686,572	1,270,003	407,189	
運営協議会経費	42,000		42,000	32,620	9,380	予算：指定額
指定管理料充当 事業	1,644,572		1,644,572	1,237,383	407,189	
管理費	3,377,286	0	3,377,286	2,793,888	△ 416,601	
建築物・建築設備点検	157,000		157,000	0	157,000	予算：指定額
光熱水費	1,000,000		0	1,171,450	△ 1,171,449	
電気料金	430,000	0		578,775	△ 578,775	
ガス料金	350,000	0		334,443	△ 334,443	
水道料金	220,000	0		258,231	△ 258,231	
清掃費	705,249		705,249	826,980	△ 121,731	
修繕費	474,000		474,000	140,897	333,103	予算：指定額
機械整備費	100,000		100,000	76,453	23,547	
設備保全費	452,104	0	452,104	426,421	25,683	
空調衛生設備保守	150,000		150,000	109,104	40,896	
消防設備保守	100,000		100,000	96,358	3,642	
電気設備保守			0	198,659	△ 198,659	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000	0	50,000	定期清掃に含む
駐車場設備保全費	50,000		50,000	22,300	27,700	
その他保全費	102,104		102,104	0	102,104	
共益費	0		0	0	0	
その他	488,933		488,933	151,687	337,246	
公租公課	772,880	0	772,880	1,002,946	△ 230,066	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	772,880		772,880	1,002,946	△ 230,066	
印紙税					0	この列は入力しない
その他( )					0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分					0	この列は入力しない
当該施設分					0	この列は入力しない
リース対応費					0	この列は入力しない
支出合計	18,172,024	0	14,794,738	19,810,641	△ 2,647,996	
差引	0	0	3,377,286	51,192	958,187	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0	0	0	0	0	→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「横浜市名瀬地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,141,716		23,141,716	22,788,708	353,008	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	153,557	△ 2,557	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	6,356,775	△ 567,775	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	20,500	△ 20,500	
雑入	0	0	0	16,000	△ 16,000	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理料充当)			0	16,000	△ 16,000	
その他(提案時控除 法人負担分)			0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>29,081,716</b>	<b>0</b>	<b>29,081,716</b>	<b>29,335,540</b>	<b>△ 253,824</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	24,881,000	0	24,881,000	20,274,520	4,606,480	
本俸	15,850,000		15,850,000	9,747,418	6,102,582	
社会保険料	2,800,000		2,800,000	2,561,862	238,138	
手当計	5,000,000		5,000,000	7,668,328	△ 2,668,328	
健康診断費	84,000		84,000	70,562	13,438	
勤労者福祉共済掛金	0		0	226,350	△ 226,350	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	567,000		567,000	0	567,000	
その他	580,000		580,000	0	580,000	
事務費	1,542,858	0	1,542,858	1,306,396	236,462	
旅費	250,000		250,000	69,654	180,346	
消耗品費	100,000		100,000	240,189	△ 140,189	
会議随費	2,000		2,000	21,000	△ 19,000	
印刷製本費	55,000		55,000	0	55,000	
通信費	350,000		350,000	145,750	204,250	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	585,105	△ 485,105	
図書購入費	50,000		50,000	0	50,000	
施設賠償責任保険	10,000		10,000	0	10,000	
職員等研修費	50,000		50,000	45,406	4,594	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	15,552		15,552	24,279	△ 8,727	
手数料	40,000		40,000	0	40,000	
地域協力費	30,000		30,000	7,000	23,000	
その他	480,306		480,306	168,013	312,293	
事業費	1,909,572	0	1,909,572	6,998,346	△ 5,088,774	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	819,572		819,572	131,014	688,558	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000	153,557	△ 2,557	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	6,356,775	△ 6,047,775	予算:指定額
管理費	899,286	0	899,286	705,220	194,066	
建築物・建築設備点検	43,000	0	43,000	0	43,000	予算:指定額
光熱水費	256,200	0	256,200	311,398	△ 55,198	
電気料金	158,844		158,844	153,852	4,992	
ガス料金	12,810		12,810	88,903	△ 76,093	
水道料金	84,546		84,546	68,644	15,902	
清掃費	187,470		187,470	219,829	△ 32,359	
修繕費	126,000		126,000	126,000	0	予算:指定額
機械警備費	50,322		50,322	20,322	30,000	
設備保全費	125,235	0	125,235	113,350	11,885	
空調衛生設備保守	25,614		25,614	29,002	△ 3,388	
消防設備保守	21,000		21,000	25,614	△ 4,614	
電気設備保守	0		0	52,807	△ 52,807	
害虫駆除清掃保守	11,219		11,219	0	11,219	定期清掃に含む
駐車場設備保全費	8,400		8,400	5,927	2,473	
その他保全費	59,002		59,002	0	59,002	
共益費	0		0	0	0	
その他	111,059		111,059	40,321	70,738	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>29,232,716</b>	<b>0</b>	<b>29,232,716</b>	<b>29,284,482</b>	<b>△ 51,766</b>	
差引	△ 151,000	0	△ 151,000	51,058	△ 202,058	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				5,927		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				△ 5,927		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 横浜市名瀬地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日  
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	
収入	介護保険収入	6228	4017	2211	28513	29287	-774	107919	104952	2967			0	
	その他	6228	9055	-2827	133	143	-10	839	944	-105	0	0	0	
	介護予防ケアマネジメント費	3144	4560	-1416			0			0			0	
	事業・負担金収入	3084	4384	-1300			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
				0			0			0			0	
	その他		111	-111	133	143	-10	839	944	-105				0
	<b>収入合計(A)</b>	<b>12456</b>	<b>13072</b>	<b>-616</b>	<b>28646</b>	<b>29430</b>	<b>-784</b>	<b>108758</b>	<b>105896</b>	<b>2862</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
	支出	人件費	5733	5241	492	20192	20155	37	74197	77815	-3618			0
事務費		331	33	298	975	983	-8	6145	6743	-598			0	
事業費		0	0	0	537	506	31	15676	15663	13			0	
管理費		4216	4560	-344	75	73	2	1589	1466	123			0	
その他		0	0	0	72	0	72	538	827	-289	0	0	0	
利用者負担軽減額				0			0			0			0	
消費税				0			0			0			0	
介護予防プラン委託料				0	72		72	538	827	-289			0	
				0			0			0			0	
その他				0			0			0			0	
<b>支出合計(B)</b>	<b>10280</b>	<b>9834</b>	<b>446</b>	<b>21851</b>	<b>21717</b>	<b>134</b>	<b>98145</b>	<b>102514</b>	<b>-4369</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		
<b>収支 (A)-(B)</b>	<b>2176</b>	<b>3238</b>	<b>-1062</b>	<b>6795</b>	<b>7713</b>	<b>-918</b>	<b>10613</b>	<b>3382</b>	<b>7231</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
おやじ達のたまり場 ～思い出坂～	高齢者(男性)	25331	地活	2931	22400	0	0	0	25331
	15人		包括						
	200円		介護						
			生活						
よこはまシニアボランティア アポイント登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人		包括						
	なし		介護						
			生活						
お弁当づくりでボランティア 講座	地域住民	43401	地活	43401	0	0	0	43401	0
	30人		包括						
	なし		介護						
			生活						
アートギャラリー	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	60人		包括						
	なし		介護						
			生活						
小さな困りごと ボランティア	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	5人		包括						
	なし		介護						
			生活						
歌声セルフ喫茶	地域住民	270000	地活	100150	169850	0	270000	0	0
	1000人		包括						
	200円		介護						
			生活						
みつこのカラオケ120%	地域住民	120000	地活	68600	51400	0	120000	0	0
	360人		包括						
	200円		介護						
			生活						
ママサロン	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	150人		包括						
	なし		介護						
			生活						
リトミックバンビ	未就園児親子	108366	地活	47166	61200	0	108366	0	0
	330人		包括						
	300円		介護						
			生活						
おやこヨガ教室	未就園児親子	116822	地活	97322	19500	0	116822	0	0
	260人		包括						
	300円		介護						
			生活						
あんしん子育て教室	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人		包括						
	なし		介護						
			生活						
文化教室	子ども～大人	16436	地活	16436	0	0	0	16436	0
	60人		包括						
	なし		介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。



# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
クリスマスコンサート	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	0
	100人		包括						
	なし		介護						
			生活						
シネマカフェ	地域住民	70114	地活	51914	18200	0	0	70114	0
	100人		包括						
	200円		介護						
			生活						
リズム体操	高齢者	20000	地活	10100	9900	0	20000	0	0
	50人		包括						
	300円		介護						
			生活						
貸館利用団体交流会	貸館利用団体	4156	地活	4156	0	0	0	4156	0
	30人		包括						
	なし		介護						
			生活						
名瀬サンシャインフェス 2018	地域住民	454231	地活	454231	0	0	0	454231	0
	30人		包括						
	なし		介護						
			生活						
正月祝箸の話と折形ワーク	地域住民	1800	地活	1000	800	0	0	1800	0
	20人		包括						
	200円		介護						
			生活						
秋葉中学校福祉体験支援	中学1年生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	100人		包括						
	なし		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
おやじ達のたまり場～思い出坂～	目的：地域の男性が集まる場をつくり、交流や活動のきっかけをつくる 内容：レーコード鑑賞、コーヒーを媒体にして男性が集まれる場をつくり、談笑や交流、フロアカーリング等を行った。	通年：12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	目的：65歳以上の元気な高齢者のための生きがい、介護予防につながるボランティア活動のきっかけづくり。 内容：ケアプラザ職員が講師となり、ボランティア活動についての講義を行った。	年1回（1月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お弁当づくりでボランティア講座	目的：団塊の世代をボランティアに取込み、小さな困りごとボランティアや地域活動として活動する場につなげる取組みとして開催。 内容：お弁当配食活動の担い手として、つながるテーマの講義と実技を行った。	年5回（1～3月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
アートギャラリー	目的：地域の方の作品を展示し来館者に披露する場とする。 内容：玄関前スペースに、毎月地域の方や団体の作品を展示した。	通年：12回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
小さな困りごとボランティア	目的：小さな困りごとをボランティア団体が手助けをし、地域で支える活動を行う。 内容：毎月第3水曜日に定例会を行い、事務局として情報共有の場をつくり、活動報告、情報交換、ボランティアの依頼を調整した。	通年：11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声セルフ喫茶	目的：音楽を通じた交流と、健康増進、引きこもり予防。 内容：プロのミュージシャンのリードに合わせて、歌謡曲や唱歌を全員で歌った。	通年：14回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みつこのカラオケ120%	目的：健康増進と、参加者同士のコミュニケーションの場を設ける。 内容：プロのミュージシャンから、課題曲を通じて発声や歌い方等を学んだ。	通年：12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママサロン	目的：子育て中の親子が集まり、情報交換の場やコミュニケーションを行う場とする。 内容：子育て中の親子のフリースペースとして、開放した。	通年：23回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
リトミック・バンビ	目的：親子、他親子と交流し、コミュニケーションや動作等を学ぶ機会とする。 内容：1歳～未就園児親子が年齢・成長に合わせた2クラスにて音楽に合わせて体を動かした。	通年：11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやこヨガ教室	目的：親子のスキンシップと、親のリフレッシュの機会とする。 内容：0歳～未就園児親子（父親含む）のヨガを行った。	通年：12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あんしん子育て教室	目的：子育て中の親が子育てのヒントを講師から学び、子育てに活かす機会とする。 内容：幼児安全指導員による子育てに関する事故予防と応急手当の講義を行った。	年1回（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
文化教室	目的：工作を通じた多世代間交流。 内容：青少年指導員と共催し、工作を行った。	年1回（11月）

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
名瀬サンシャインフェス2018	目的:地域に根差した施設であるために、職員と地域住民との顔の見える関係づくり。ボランティア育成及び活動の場の提供 内容:地域住民に向けての感謝祭。ステージ発表、出店等。	年1回(10月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスコンサート	目的:コンサートを通じて、地域の方が来館する機会をつくり、リフレッシュと交流する機会を設ける。 内容:ボランティアのビッグバンドグループによるクリスマス演奏会を行った。	年1回(12月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シネマカフェ	目的:ケアプラザに来館する機会を設けるとともに、ボランティアとして活動できる場を設ける。 内容:映画上映と、ボランティアが入れたコーヒーを参加者にふるまった。	年2回(7・3月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リズム体操	目的:音楽やリズムに合わせた体操により、普段使用していない筋肉の強化と体作りを行う。 内容:高齢者対象にリズムに合わせた体操を行った。	年2回(9・3月)

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸館利用団体交流会	目的:ケアプラザの貸館利用団体同士の交流と、活動の活性化を図るための機会とする。 内容:貸館利用団体同士の交流と情報交換を図るとともに、貸館利用方法の再確認を行った。	年1回(1月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
正月祝箸の話と折形ワーク	目的:地域の方同士の異世代間交流と地域の高齢者の外出機会の場として開催する。 内容:講師による正月祝箸についての座学と箸置きと祝箸袋の作成ワークを行った。	年1回(11月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋葉中学校福祉体験支援	目的:学校教育における、「様々な人々と共に生きていく社会を目指す」生徒の育成の補助的な支援を行う。 内容:クラス別に高齢者疑似体験の指導を行った。	年1回(12月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
介護者のつどい	①介護者、本人	82689	地活	20,500	0	0	0	82,689	
	②10名程度		包括						62189
	③なし		介護						
	(イベントによって参加費あり)		生活						
ふくしものしり大学	①地域の方どなたでも	10339	地活	0	0	0	0	10,339	
	②40名		包括						10339
	③なし		介護						
			生活						
ケアマネサロン名瀬	①名瀬地区で活動している ケアマネジャー	6576	地活	0	0	0	0	6,576	
	②10名程度		包括						6576
	③なし		介護						
			生活						
居宅介護支援事業所連絡会	①民生委員、名瀬地区で 活動しているケアマネジャー	31410	地活	0	0	0	0	31,410	
	②40名程度		包括						31410
	③なし		介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>目的：介護者どうしで情報交換する場を提供し、気分転換や介護負担の軽減を図る。</p> <p>内容：茶話会形式で行ったり、季節に合わせた外出イベントを行ったり、介護者と各種専門職との交流会などを行った。</p>	<p>年間12回。 原則毎月第4火曜日 13：30～ 15：00</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふくしものしり大学	<p>目的：地域に向けて、「遺言・相続」をわかりやすく紹介し、その方らしい人生を送るための振り返りの機会をつくる</p> <p>内容： ① H31年9月16日 たかの台「ラブリーなせ」 ② H31年11月17日 平戸地域ケアプラザ 「気軽にサロン」 ③ H31年1月25日 東戸塚地域ケアプラザ 「お茶飲み会」 ④ H31年3月7日 南戸塚地域ケアプラザ 「権利擁護講座」</p> <p>共催：東戸塚地域ケアプラザ・上矢部地域ケアプラザ・平戸地域ケアプラザ・名瀬地域ケアプラザ 南戸塚地域ケアプラザ 地域包括支援センターの社会福祉士職</p> <p>協力：劇団皆楽来のボランティアメンバー コスモス神奈川成年後見サポートセンター 神奈川支部</p>	<p>年間4回。 H31年9月～3月にかけて実施。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネサロン名瀬	<p>目的：地域で活動するケアマネジャーとの連携強化を図るために、ケアマネサロンを開催する。</p> <p>内容：事例検討を通じた情報交換会（ケアマネサロン）を開催し、介護保険制度の周知や相談を受け、また関係機関との連携がとれるように支援を行った。</p>	<p>年間1回。 7/31に地区の居宅介護支援事業所等のケアマネジャー8名と、事例検討会実施。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
居宅介護支援事業所連絡会	<p>目的：民生委員とエリア内居宅介護支援事業所の情報交換会</p> <p>内容：名瀬町の方が利用できる介護保険以外の活動やサービスの紹介。 地域の民生委員と介護支援専門員の意見交換会</p>	<p>年間1回。 3/29に民生委員15名、エリア内のケアマネジャー28名と、名瀬町内のインフォーマルサービス情報冊子を配布し、意見交換会実施。</p>



# 平成30年度 自主事業収支報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
名瀬地区ハートプラン推進委員会移動支援検討部会(連携・協議の場)		18000	地活					
			包括					
			介護					
			生活	18000	0	0	0	0
名瀬地区インフォーマルサービスリストの配布		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活	0	0	0	0	0
ボランティアスキルアップ講座		6099	地活					
			包括					
			介護					
			生活	6099	0	0	0	0
おやじ達のたまり場 ～思い出坂～		90882	地活					
			包括					
			介護					
			生活	90882	0	0	0	0
名瀬地区の配食サービス、みまもり活動について考える会		92868	地活					
			包括					
			介護					
			生活	92868	0	0	0	0
「認知症サポーター養成講座」開催支援		29230	地活					
			包括					
			介護					
			生活	29230	0	0	0	0
出前講座		0	地活					
			包括					
			介護					
			生活	0	0	0	0	0
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					
			地活					
			包括					
			介護					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
名瀬地区ハートプラン推進委員会移動支援検討部会（連携・協議の場）	目的：高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、買い物困難高齢者を支援する取り組みを支援する。 内容：名瀬地区ハートプラン推進委員会移動支援検討部会と連動し、買い物移動支援について地域住民・区役所・区社協・社会福祉法人・介護サービス事業所等で連携・協議し、小地域にてプレ開催後、定期開催につながった。	年 9 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
名瀬地区インフォーマルサービスリストの配布	目的：地域包括ケアシステムの構築に向けて、高齢者が、制度以外のインフォーマルサービスも含めて選択・利用できるよう支援する。 内容：高齢者等を対象にした、ケアプランに反映できる介護保険等の制度以外の地域活動・インフォーマルサービスを冊子として作成し、居宅介護支援事業所連絡会でケアマネジャー、民生委員に配布した。	9月：随時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ講座	目的：既存のボランティア連絡会と共催で研修会を開催し、地域のボランティアのスキルアップ講座を目指す。 内容：高齢者の栄養改善のための講座を開催した。また、生活支援体制整備事業の目的・目指す地域像、生活支援コーディネーターのこれまでの地域活動事例として、ボランティアによる配食サービス活動支援について報告した。	1回（11月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おやじ達のたまり場～思い出坂～	目的：地域の男性が集まる場をつくり、交流や活動のきっかけをつくる 内容：地域活動交流と共催で、レコード鑑賞、コーヒーを媒体にして男性が集まれる場をつくり、談笑や交流、フロアカーリング等を行った。	月 1 回：12回

# 平成30年度 自主事業報告書

## 横浜市名瀬地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
名瀬地区の配食サービス、みまもり活動について考える会（協議体）	目的：地域で長く続いてきたボランティアによる配食サービスが今年度を持って終了するにあたり、新しい配食サービス活動の創出に向けて支援する。 内容：地域ボランティアのコアメンバーと区社協・区役所にて話し合いを重ね、「お弁当づくりでボランティアデビュー講座」を開催した結果、修了者で新しい活動が始まった。	7月～3月 ：計9回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
「認知症サポーター養成講座」開催支援	目的：認知症を正しく理解し、認知症高齢者や家族を温かく見守る地域づくりに向けて支援を行う。 内容：「桜カフェひとやすみ」と「かいぞう広場」で共催。企画、打ち合わせ、チラシ作成、広報、参加協力等全面的に支援を行った。	1回（2月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出前講座	目的：地域住民に生活支援体制整備事業や生活支援コーディネーターの役割について、また地域での活動状況について説明・報告し、地域の現状と今後について情報共有する。 内容：老人クラブ、ボランティア団体の定例会、食事会等で出前講座を開催した。	年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数